

**経済産業省
ジャパンベンチャーアワード2010
環境特別賞受賞**

この度、経済産業省「中小企業基盤整備機構」主催の「ジャパンベンチャーアワード2010」で、間伐材を利用した高品質でリサイクルしやすい住宅づくりを可能にする住宅供給システムの構築が評価され、HOPが環境特別賞を受賞いたしました。



ニセコプロジェクトを手掛けるキース・ロジャーズ氏と石出和博HOP代表
Niseko H-residenceにて

キース・ロジャーズ
Keith Rodgers (写真右)

●TAIGA株式会社 代表取締役社長
カナダ出身。2005年からニセコ町で不動産会社に勤務した後、2008年に独立。ニセコヒラフで不動産業とプロジェクトマネジメントを営むTAIGA株式会社を設立。現在代表取締役社長。

いしで かずひろ
石出 和博 (写真左)

●建築家 一級建築士事務所アトリエアム代表取締役社長
HOPグループ代表取締役CEO
北海道出身。89年一級建築士事務所アトリエアム(株)を設立。97年新しい住宅供給システムHOPを設立。現在に至る。林野庁長官賞、経済産業大臣賞(消費者志向優良企業)など受賞。著書に「家を建てる前に読む本」ハウスクター診察室、石出和博とアトリエアムの世界(ART BOX社)などがある。



Niseko P-residence / photo:Osamu Adachi

森を建てよう。[®]

ニセコの外国人住宅が教えてくれること

去る2月2日、「ジャパンベンチャーアワード2010」(経済産業省中小企業基盤整備機構)の環境特別賞が、ハウジングオペレーションの石出和博社長に贈られました。建築分野では初となるこの受賞を記念して、ニセコでのビジネスパートナーであるキース・ロジャーズさんと、HOPの家づくりの全を紹介します。

**日本の精神文化を
住まいの新たなものに**

石出 近年外国からのリゾート客がニセコにたくさんいらしていますが、キースさんの目から見ると海外の皆さんは、ニセコにどんな価値を見いだしているのでしょうか？

キース オーストラリアやアジアの方にとつてニセコの魅力は、まず世界有数のパウダースノーや温泉が代表される。豊かな自然です。そしてさらに重要なことは、ニセコが日本であることなのです。どういふことかという点、彼らは日本の伝統文化にとっても興味がある。建築でいえば、例えば木や紙や畳が、シンプルですがすがすがしい。季節の変化とともに、とても質素だけれど不思議に豊かな空間。日本はそうしたものに、日本人にしかない高い精神性を感じています。

石出 よくわかります。そしてそれは、いまの日本では忘れられがちなのですが、この国が大切に守り伝えてきた美意識にほかなりません。さらに言えば、それは日本人の生き方の基礎にあつたものだと思います。私は若いときに宮大工の技術を学び、今日まで北海道や京都などで茶室をつくってきました。日本建築の伝統に息づいてきたさまざまなデザインは、単なるうわべの意匠ではなく、この国の歴史風土が深く磨いてきた、四季の自然と呼吸が交わす「そのつくりの心やふるまい」そのものではなかったか。私はそう考えて仕事を続けています。

**海外でも認められた
「森を建てよう」の理念とは**

キース 私も日本の伝統建築の精神性に強くひかれる欧米人です。しかし一方で、京都の町屋やお寺のような建築に彼らが住めるかという点、

もちろんそうではない。日本文化の基本やエッセンスを高度に取り入れながらも、石出さんの設計する住まいにはモダンで洗練されたデザインや機能がこめられています。海外の方が石出さんに設計を依頼するのは、そのセンスや高いノウハウがあればこそです。

石出 海外のお客さまは、世界の第級のデザインをよくご存知です。だから、茶室のような極めて小さな空間と、天井高5メートルで全面採光のリビングを共存させられないか、などといった大胆なアイデアを持っている。まるで自分の生き方を表現するように、世界にひとつしかない住まいをくろうと、遊び心を持って楽しんでおられます。そうしたお客さまにとって、住まいというものは、選んで買う「規格商品」ではなく、決まっています。そしてデザイン面では、和の本質にしっかりと根ざしているけれど、和の折衷でも決してそれがいもいもにはならず、世界に通じるデザインが成立します。もともとそのためには、素材が重要な鍵をにぎるのですが、キース 形や機能だけがほしいのなら、プラスチックで十分。しかし石出さんは決してそうしません。そして欧米人の五感に訴える設計のポイント、木の素材にある。

石出 その通りです。日本建築のクオリティの鍵をにぎるのは、上質な木の肌ざわりです。HOPグループ3社は国内で初めて、流通設計・施工部門でSGEC(緑の循環)認証協議の森林認証を取得し、伐採から加工、流通までの履歴が明確な認証木材を使用しています。それはまた、北海道の森を元気にすることにつながる取り組みでもあります。こうして住まいづくりを森つくりと直結させること。そして、光合成の過程で二酸化炭素を吸収定着させた木材を、住まいという形にして美しい街並みを新たに作り出していくこと。それが私たちが唱える、「森を建てよう」という理念なのです。

キース 石出さんの取り組みは、はじめは無謀だと言われたと思います。しかしそうした長年の取り組みに対して、ベンチャーアワードの環境特別賞が贈られたわけですね。

石出 保守的な建築業界にあつては孤軍奮闘してきた当社ですから、挑戦を評価されたことは大きな喜びでした。そして、当社の家づくりの近年の集大成といえるのが、キースさんのお力も借りたニセコの3棟の住まいです。

キース ニセコにとどまらず、いま軽井沢をはじめ日本各地でもHOPの仕事は着実に注目を集めています。海外のエグゼクティブたちが夢中になる石出さんの家づくりを、日本の皆さんにもっと知ってほしいと思います。

石出 このたびニセコで、そのための良い機会を設けることができました。私としては、ぜひ現物を見てお確かめください、とお願ひするばかりです。キースさん、今日はありがとうございました。

3/13(土) 14(日)
時間/午前10:00~午後5:00

HOPの家 ニセコ新築見学会 外国人住宅3邸 特別公開



ニセコ「海外オーナー住宅」新築3邸を、この二日間に限り特別公開いたします。海外で活躍されるエグゼクティブなオーナー様の、卓越した個性に彩られた邸宅の数々。ニセコの雄大な自然環境のなか、「HOPの家」がかなえるプレミアムなデザインとクオリティがご覧いただける、最初で最後の貴重な機会です。邸宅の新次元を体感するこの好機に、ぜひご来場ください。

HOP本社より無料送迎バスをご用意。(要予約、昼食付)
送迎バスご利用のお客さまは両日も午前10:00までにHOP本社までお越しください。事前に下記フリーダイヤル又はホームページからご予約お申し込みください。

マイカーご利用のお客さま
お車で直接会場までお越しのお客さまは事前申し込み等の必要はありませんので、ニセコHOP会場までお越しください。現地にて専任のスタッフがご案内いたします。ご来場をお待ち申し上げております。

●現地集合場所/ニセコH邸(虻田郡倶知安町字山田115-295)
※現地HOPの家見学会看板を目印にお越しください。



●送迎バス発着場所/HOP本社
(札幌市中央区北4条西21丁目2-1)
山の手通 ビクトリア
西28丁目駅 西25丁目通
北1条 北5条通
宮の沢通 HOP札幌本社
●東急ストア

見学会当日のニセコ会場連絡先
日080-4052-9363
当日、会場までの道程に迷われた場合ご連絡ください。



Niseko P-residence / photo:Osamu Adachi

HOPグループ
林野庁木材供給低コスト化総合対策事業
ハウジングオペレーションInc.

札幌本社 札幌市中央区北4条西21丁目2-1 FUJITA BLD.
TEL: 011-615-7777 / FAX: 011-614-8913
札幌・京都・横浜・帯広・旭川
一級建築士事務所
アトリエアム株式会社

ホームページからご予約ができます。
HOP 検索
http://www.hophouse.co.jp

ご予約・お問い合わせは
HOPインフォメーションセンター
0120-55-2486

広告